

奈良県五條市靈安寺町

御靈本宮通信

No.1 令和8年1月1日（木）毎月1日発行

謹賀新年

皆様のご健康ご多幸をお祈り致します。

本年も宜しくお願ひ申し上げます

令和8年元旦

御靈神社 宮司 藤井利夫



のおはなし



今年の干支は「丙午」。ひのえうま五行（「木、火、土、金、水」と十二支を組み合わせた60の干支のひとつです。丙は「火」に属し、太陽のような燃え盛る情熱を表します。午も「火」の属性で、行動力やスピードを意味します。この二つが合わさった今年は、最大限の熱量をもって目標に向かい、それを成し遂げる年ということになるでしょうか。

上代、正月七日に、朝廷では「白馬の節会」が行われていました。中国の故事に倣ったもので、青は青陽（初春）、馬は陽の獣であるので、この日に青馬（白または葦毛の馬）を見ると邪気を避けることができるというものです。「あおうま」に「白馬」の字を当てるのは、日本では古来より白を神聖なものとして重んじていたことに由来するといわれます。

続日本紀には、日照りや長雨の際に神に馬を奉った記録がみられます。雨を祈るときは黒毛の馬を、晴れを祈るときには白毛の馬を奉納しています。平安時代以降、馬の代わりに絵馬を奉納されるようになってからも変わっていません。

馬は農作業にも深く関わってきました。

旧暦8月1日に行われる馬節句は、田の実の節句ともいわれる伝統的な行事です。香川県善通寺市などの中・西讃地区では、男の子の健やかな成長を願うために、だんご馬を作り、飾り、祝います。

だんご馬は勇ましい跳ね駒のものが家々に並びます。

飾った後は刻んで近所に振る舞い、地域全体で祝うのが習わしになっています。

鹿児島県東臼杵郡美郷町の田代神社では、毎年7月に御田植祭が行われます。神人・牛馬一体となって田植を行う神事で、千年近く続いており、県の無形民俗文化財に指定されています。

この祭りでは、牛や馬が神田に入り、田の中で激しく動き回って「代搔き」が行われます。神の使いである神馬が跳ね上げた泥を浴びれば無病息災であるといわれます。

近年、農耕機械の発達により、牛馬を用いた農作業がほとんど見られない時代となりましたが、田植えに関わる馬の昔ながらの様子を伝える貴重な神事となっています。

米の価格高騰により、あらためて主食である米の大切さを知らされました。そして物価高とともに私たちの生活に不安をもたらしています。令和8年は、田畠に多くの実りをもたらしてきた馬にあやかり、陽気あふれる活気のある年になるように願います。

本殿御屋根葺替事業完了へ

当社の本殿は、令和4年度より本格的な工事が始まり、ようやく今年3月に完了予定です。前述したように、今年は「成し遂げる年」ですから、まさしく丙午の年にふさわしい事業の完了となります。

4年の歳月を費やしたこの事業は、奈良県・五條市、そして氏子・崇敬者のみなさんのご理解とご支援により実施できました。その感謝の意を込めて、本殿見学会などの竣工関連行事を計画しています。時間の都合をつづられまして、ぜひ皆さんお揃いでお越しください。

本殿御屋根葺替事業竣工奉祝行事（予定）

4月25日（土）

本殿見学会・御靈本宮所蔵品展

4月26日（日）

奉祝行事 神輿巡幸・天平行列

朗読劇・オカリナコンサート

ジャンベ&ダンス

本殿御屋根葺替事業御奉賛のお願い

御靈神社（本宮）は、延暦 19（800）年、桓武天皇勅使葛井王により創建され、宇智郡（旧五條市）全域の氏神として、ご神徳を発揚されてきました。本殿は江戸時代初期の寛永 14（1637）年に建立されたもので、安土桃山時代の様式が残る建築物として高く評価され、県指定文化財となっています。

本殿の屋根は檜皮葺で、30 年程で葺き替えが必要とされていますが、昭和 45（1970）年に行ってより 50 年以上を経過し、屋根の傷みが激しく、本殿内に雨漏りがするようになりました。数年前より奈良県および五條市に陳情を行ってきたところ、令和 3 年度から御屋根葺替と本殿彩色現状保存などの修理事業を実施することになりました。事業総額約 1 億 4000 万円のうち、約 1 億円は県や市からの補助金を充て、1 千万円は当社基本財産から支出しますが、残り 3 千万円を御奉賛金に頼らざるを得ません。

つきましては、本事業の趣旨にご賛同賜り、御奉賛金を御寄進賜りますよう、心から懇願申し上げます。

ご奉賛方法等は社頭にあるリーフレット「御靈神社本殿御屋根葺替事業御奉賛のお願い」をご覧ください。

正月授与品のご案内

○干支土鈴(大) ¥1,000



○干支土鈴(大) ¥1,000



○干支土鈴(小) ¥600



○干支貯金箱(陶器) ¥500



○干支(青磁) ¥500



○干支根付 ¥300



○御神札「立春大吉」¥800

節分に豆をまいて清め、翌日の立春の日に「今年も無事に過ごせますように」と願いを込めてお札を玄関に貼ります。

立春大吉は縦書きにすると、左右対象になっていて裏からでも立春大吉と読みます。玄関にこのお札を貼った家に鬼が入り、後ろを振り返ると立春大吉のお札が目に入りました。すると鬼は、こっちの家にはまだ入っていなかったと勘違いをして、結果、家から出て行ったという話から、魔除け・厄除け・厄払いの御利益があると言われています。

立春大吉のお札は、立春の日の朝に貼るのがよいとされていますが、雨水（2月 19 日）までの間に貼ればよいとも言われています。

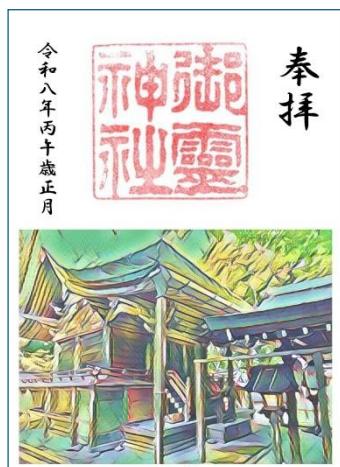


正月御朱印は「本殿」

令和 8 年は当社の建物や祭事、風景をイラスト化した絵柄を予定しています。

今は本殿にしました。本殿は現在改修中で、新しくなる前の姿になります。

社頭に置いています。1 枚 500 円。賽銭箱にお入れください。



1 月の主な行事

1 日(木) 御靈神社歳旦祭

統神社歳旦祭

二見御靈神社歳旦祭



9 日(金) 恵美須神社宵戎祭

10 日(土) 恵美須神社初戎祭

11 日(日) 残り戎(午前中)



16 日(金) 猿田彦神社例祭

29 日(木) 伊勢神宮初詣団参